

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 8 月 25 日

第 21 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyoku-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会
教育課程企画特別部会

指導要領改訂の設計図 「審議のまとめ」全容かたまる

8月19日開催の中央教育審議会教育課程企画特別部会において、「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案)」が示され、同部会としての最終検討が行われた。

前回会合で示された「審議のまとめ(素案)」では、次期指導要領は身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容などの全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」として、教職員のみならず教育関係者や社会が広く共有できるものとする」と表明(「きょういくプレス第20号」既報)。その趣旨を「審議のまとめ」自体にも生かすため、素案から大幅な構成の見直しを行い、指導要領の変遷と子供たちの現状の考察から始まり、これからの社会の展望、子供たちに求められる資質・能力、その育成のために必要な指導要領等の改善——というように筋立てを明確化。改訂の意義や理念をより理解しやすいようにという配慮だ。

さらに、本案では指導要領の改善のポイントを次の4点に整理した。

① 枠組みの大幅な見直し(「何ができるようになる

のか(資質・能力の三つの柱)」「何を学ぶのか(目標・内容)」「どのように学ぶのか(学習過程の改善)」

② 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

③ 主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニングの視点からの学び)の実現

④ (①と関連して)総則の抜本的改善

委員からは、概念的な言葉の洪水と受け止められないよう言葉の使い方とねらいを精査してより分かりやすい内容としてほしい、理念実現のための方策・条件整備に関する記述が弱いなど、取りまとめに向けて最終の調整を求める意見が出された。

「審議のまとめ(案)」は、今回の検討内容を基に修正が行われた上で8月26日開催の教育課程部会に報告され、確定となる見込みだ。

昨年の「論点整理」から丸一年。「審議のまとめ」は、「(この間の)議論の深まりも踏まえ、新しい学習指導要領等が『学びの地図』として活用されるものとなるために必要な、改訂の設計図を示している」。これは事実上の答申素案に当たり、今後パブリックコメントの募集や関係団体ヒアリング等を経て12月に答申公表、年度末に指導要領告示へと向かう。

文部科学省は教職としての専門性を高めるため「審議のまとめ」を研修等で活用していくことを学校現場に求めている。今後の動向を注視したい。

「審議のまとめ(案)」目次、次ページに掲載

次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案) 目次

平成 28 年 8 月 19 日中央教育審議会教育課程企画特別部会

第 1 部 学習指導要領等改訂の基本的な方向性

1. これまでの学習指導要領等改訂の経緯と子供たちの現状
2. 2030 年の社会と子供たちの未来
3. 子供たちに求められる資質・能力と教育課程の課題
4. 学習指導要領等の枠組みの改善と「社会に開かれた教育課程」
 - (1) 「社会に開かれた教育課程」の実現
 - (2) 新しい学習指導要領等の枠組み
 - (3) 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現
 - (4) 「主体的・対話的で深い学び」の実現（「アクティブ・ラーニング」の視点）
 - (5) 新しい学習指導要領等の考え方を共有するための、総則の抜本的改善
5. 何ができるようになるか —育成を目指す資質・能力—
 - (1) 育成を目指す資質・能力についての基本的な考え方
 - (2) 全ての教科等や諸課題に関する資質・能力に共通する要素
 - (3) 教科等を学ぶ意義の明確化
 - (4) 教科等を越えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力
 - (5) 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

6. 何を学ぶか

—教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成—

7. どのように学ぶか

—各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実—

8. 子供一人一人の発達をどのように支援するか

—子供の発達を踏まえた指導—

9. 何が身に付いたか —学習評価の充実—

10. 実施するために何が必要か

—学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策—

第 2 部 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性

1. 各学校段階の教育課程の基本的な枠組みと、学校段階間の接続
 - (1) 幼児教育 (2) 小学校 (3) 中学校 (4) 高等学校 (5) 特別支援学校 (6) 学校段階間の接続
2. 各教科・科目等の内容の見直し
 - (1) 国語 (2) 社会、地理歴史、公民 (3) 算数、数学 (4) 理科 (5) 高等学校の数学・理科にわたる探究的科目 (6) 生活 (7) 音楽、芸術 (音楽) (8) 図画工作、美術、芸術 (美術、工芸) (9) 芸術 (書道) (10) 家庭、技術・家庭 (11) 体育、保健体育 (12) 外国語 (13) 情報 (14) 主として専門学科において開設される各教科・科目 (15) 道徳教育 (16) 特別活動 (17) 総合的な学習の時間

大好評発売中!

月刊シリーズ
(全 12 巻)

新教育課程ライブラリ

Vol.8 特別支援教育の実践課題

Vol.8
8月18日刊

A4判

各巻定価 本体 1,350円+税

セット定価 本体 16,200円+税 (12巻セット)

Vol.8 特集では、通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校など「多様な学びの場」における特別支援教育の在り方を追究。

■ 特集 — 特別支援教育の実践課題

- 解説 ○共生社会の実現に向けた特別支援教育の新展開 (柘植雅義) / ○これまでの議論に見る特別支援教育の改善・充実の方向性 (野口和人) / ○特別支援教育における教員の資質・能力の育成とは (澤田真弓) / ○一人ひとりの学びを保障する「合理的配慮」の在り方 (樋口一宗) / ○個を生かした教育課程編成の在り方 (河合 康)
- 事例 ○連続性のある「多様な学びの場」に向けた支援体制の充実 (長野県岡谷市立岡谷田中小学校) / ○「特別支援教室」を生かした指導と支援〈中学校の例〉 (横浜市教育委員会) / ○障害のある子どもとその保護者に対する就学支援の実践 (真鍋 健) / ○高等学校内に設置された特別支援学校の取組 (福島県いわき養護学校くぼた校・福島県立勿来高等学校) / ○インクルーシブ教育に向けての特別支援学校の取組と課題 (岐阜県教育委員会)

■ 連載

- 新課程を生かすカリキュラム・マネジメント (天笠 茂) / ○「育ち」と「学び」をつなげる授業 (奈須正裕) / ○実践! アクティブ・ラーニング研修 (村川雅弘) / ○ミドルリーダーが創るこれからの学校 (大脇康弘) / ○学校改革の新定石 (西留安雄) / ○教育 News (渡辺敦司) / ○教育課程改訂の動向 (文部科学省教育課程課) / ○新学習指導要領に向けた指導の充実 [Vol. 8 道徳] (文部科学省教科調査官) ほか



8月 ◆ 25日 東京国際空港開港記念日 ◆

26日 人間と市民の権利の宣言 (フランス人権宣言、1989) ◆ 27日 映画「男はつらいよ」第一作公開 (1969) ◆ 28日 テレビCMの日

◆ 29日 秋田県の記念日 / 文化財保護法施行記念日 ◆ 30日 冒険家の日 ◆ 31日 野菜の日

9月 ◆ 1日 防災の日 ◆ 2日 靴の日 ◆ 3日 ホームラン記念日 ◆ 4日

クラシック音楽の日 ◆ 5日 石炭の日 ◆ 6日 妹の日 ◆ 7日

白露 (2016) ◆ 8日 国際識字デー ◆ 9日 救急の日 ◆ 10日

屋外広告の日 ◆ 11日 警察相談の日 ◆ 12日 宇宙の日 / 鳥取

県民の日 ◆ 13日 世界法の日 ◆ 14日 コスモスの日 ◆ 15

日 ひじきの日

■ 8/25 ~ 9/15 生まれの著名人 (敬称略)

8月 福田恆存 [文芸評論家] (25日)、コシノ・ジュンコ (25日)、マザー・テレサ (26日)、いがらしゆみこ (26日)、宮沢賢治 (27日)、剛力彩芽、(27日)、ゲーテ (28日)、宮川花子 (28日)、谷山浩子 (29日)、伊藤勤 (29日)、井上陽水 (30日)、松本潤 (30日)、リチャード・ギア (31日)、青木功 (31日) 9月 小澤征爾 (1日)、土田晃之 (1日)、キアヌ・リーブス (2日)、国分太一 (2日)、野依良治 (3日)、ドラえもん (3日) [2112]、丹下健三 (4日)、小林薫 (4日)、ルイ 14 世 (5日) [1638]、草刈正雄 (5日)、星新一 (6日)、澤穂希 (6日)、エリザベス I (7日) [1533]、長瀬剛 (7日)、紺野美沙子 (8日)、松本人志 (8日)、弘兼憲史 (9日)、石井一久 (9日)、内館牧子 (10日)、松田翔太 (10日)、O・ヘンリー (11日)、泉ピン子 (11日)、藤田弓子 (12日)、戸田恵子 (12日)、山田洋次 (13日)、松坂大輔 (13日)、赤塚不二夫 (14日)、上戸彩 (14日)、アガサ・クリスティ (15日)、今村昌平 (15日)

●「きょういくプレス」

無料メール配信サービス
のお申込みを承り中です。
下のQRコードから簡単
にお手続
ください
た
け
ます。



●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Web サイト http://gyosei.jp
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者